

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		学校給食センター運営費 [給食費管理事務]										
予算科目	款	10	教育費	項	5	保健体育費	目	3	学校給食費	事業番号	2	
事業の種別		☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☒ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの										
担当部署・課長名		教育総務（給食課）				課		給食		係 課長名 斎藤 謙二郎		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		1 - 1		
【施策名】 学校教育の充実								総合計画書(ページ)		31		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市立小・中学校に通学している児童・生徒の保護者から支払われる給食費					徴収すべき給食費(＝給食会計調定額)						
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
給食費の滞納を解消する。					給食費の収入率(率の向上)							
→												
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
給食食材に係る費用は、学校給食法の定めにより保護者負担としている。定められた期限までに納入のない保護者に対しては、各学校から文書にて通知をした。それでも納入がない場合は、給食課から電話督促・夜間休日等訪問し徴収を行った。また、必要に応じて、児童手当、就学援助費等他法他施策からの支払い方法と手続きを案内し、確実な徴収に努めた。					「他法他施策(就学援助費、特別支援奨励費、生活保護費、児童手当)からの徴収額」及び「夜間休日等訪問徴収における徴収額」の合計金額							
→												
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標				
	対象指標	①の数値	円	310,458,869	270,146,252	320,895,541						
	成果指標	②の数値	%	97.88	97.65	98.07						
	目 標	②の目標値	%	100	100	100						
	目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 滞納を解消することを目標とした。											
活動指標	③の数値	円	41,731,660	37,740,547	45,770,470							
3 経費	事業費(実績)		円	642,227	559,070	606,621	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	642,227	559,070	606,621						
		特定財源	円	0	0	0						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
		人件費(目安)	人	3.0	3.0	3.0						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
	職員人件費(再任用以外)	円	24,930,000	25,140,000	24,750,000							
職員人件費(再任用)	円	0	0	0								
事業費+人件費		円	25,572,227	25,699,070	25,356,621							
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く											
	未納者の状況に応じた働きかけをするため、計画的な未納のお知らせの送付・電話連絡・戸別訪問を実施する必要がある。 学校給食費管理事務の効率化を図る必要がある。											
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く											
	夜間・休日の電話連絡・戸別訪問の実施時期等を年間計画化する。 未納者の意識を変えるため、状況に応じて未納通知の送付方法を変更する。 学校給食費管理事務のマニュアル化を進める。											